

教育用



# LUCHENTO PREMIUM

PROFESSIONAL HAIR COLOR CREAM

ルーチェントプレミアム ヘアカラーマニュアル



## contents — 目次 —

- 02 毛髪チェック
- 03 色相環
- 04 アンダートーンとレベルスケール
- 05 「ルーチェントプレミアム」製品紹介
- 06 「ルーチェント」シリーズ 共通特長
- 07 - 08 「ルーチェントプレミアム」処方特長
- 09 カラーラインナップ
- 10 カラーチャート
- 11 カラーイメージをコントロール
- 12 レベルをコントロール  
色遊びでイメージ演出
- 13 - 14 既染部をコントロール  
トーンダウンイメージチャート
- 15 ケーススタディ 新生部
- 16 ケーススタディ 既染部①
- 17 ケーススタディ 既染部②
- 18 ベーシックプロセス

## 毛髪チェック

### ダメージによる染色傾向

施術履歴（カラー、パーマ）をしっかりと確認し、ダメージレベルでどのような染色傾向になるのかを予測しましょう。

アンダーレベル	ダメージレベル	毛髪の状態（施術履歴の目安）		染色傾向
16以上	溶解毛	ウルトラハイダメージ毛	ハイブリーチ、縮毛矯正8回以上、ヘアカラー&パーマ2回以上 (髪を濡らしただけで絡み、コームが通らない。 髪を引っ張るとそのまま縮れる。)	タンパク変性により縮毛のようになって、カラーの発色が困難。
15	5	ウルトラダメージ毛	ハイブリーチ、縮毛矯正4回以上、ヘアカラー&パーマ2回以上 (コームが通らず、無理に通すとゴムのように伸び切れる。)	色が濃く入りすぎたり、逆に入らなかったり、非常に不安定な染色傾向。
14 13	4	ハイダメージ毛	ハイブリーチ、縮毛矯正4回未満、ヘアカラー&パーマ2回以上 (コームが通りにくく、無理に通すとゴムのように伸びる)	求める色が正確に出づらかったり、染まりすぎることもある。
12 11 10	3	ミドルダメージ毛	ヘアカラー、パーマ5~6回位 (コームは通りにくいですが、やさしくコームスルーをすれば通るようになる。)	求める色がやや明るめに出る。
9 8 7	2	ローダメージ毛	ヘアカラー、パーマ3~4回位 (コームは通りやすいが、ややガサつきやザラつきを感じる。)	求める色が比較的正確に出る。
6 5	1	ライトダメージ毛	ヘアカラー、パーマ1~2回位 (コームは通りやすいが、やや引っかかりを感じる。)	求める色が正確に出る。
4 3 2 1	0	ノーダメージ毛	ヘアカラー、パーマ施術経験なし	求める色がやや暗めに出る。

※ヘアチェックの前には、必ず頭皮のチェックも行なってください。 ※ヘアカラー施術の際にはダメージに合わせた前処理が必要です。 ※アンダーレベルはあくまで目安です。

染色傾向は、毛髪の状態により変わってきます。また、既染部にヘアカラー剤が残っているかを確認しなければなりません。

お客様にいつどのようなカラーを施術されたのかを確認してください。

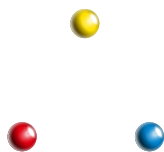
お客様の求めている希望の色を表現する上で、残留色素は大きく影響を与えることがあります。

その場合、残留色素をプレブリーチで取り除く必要があります。

また、ヘアマニキュアをされているお客様は除去剤の使用をおすすめしますが、色素が100%除去されることは考えにくく、

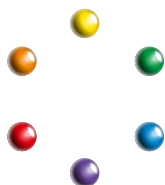
希望の色を表現できないことがありますので、お客様に充分理解していただくことが必要です。

## 色相環



色の3原色

純色である黄・赤・青の事を「プライマリーカラー」という。全ての色がこの色から作られ、混ぜ合わせても作ることが出来ない。



6色相環

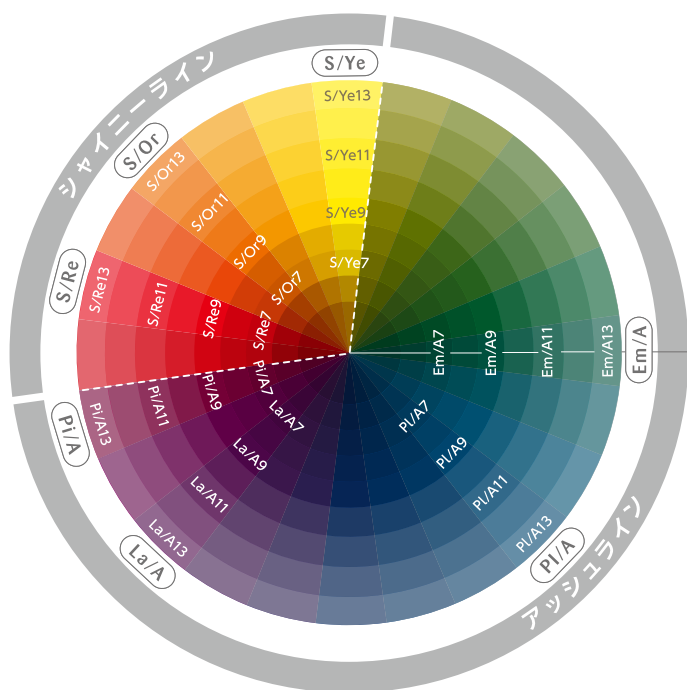
プライマリーカラー同士を混ぜ合わせて作られた色を「セカンダリーカラー」といい、6色相が色作りの考えの基盤になる。



12色相環

セカンダリーカラー同士を混ぜ合わせて作られた色を「ターシャリーカラー」という。ヘアカラーにおいては12色相までは最低限知っておく必要がある。

### <ルーチェントプレミアム(メイクシェイド)色相環イメージ>



#### シャイニーライン (S/Ye・S/Or・S/Re)

カラーサークル色調は、少し彩度強めのグラデーションに設定。

#### アッシュライン (Pi/A・La/A・Pl/A・Em/A)

カラーサークル色調は、アッシュ系の柔らかさを感じるグラデーションに設定。

#### ベースライン

Na	Mo
Na13	Mo13
Na11	Mo11
Na9	Mo9
Na7	Mo7
Na5	Mo5
Na3	

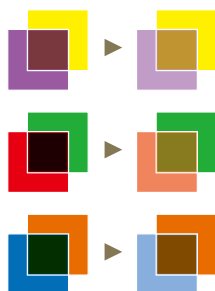
※各色番号の配置はイメージです

## 色の支配力

色を混ぜ合わせて新しい色を作るときは、色の支配力を考えることが重要です。純色で考えた場合、支配力の強さは右図のようになります。



## 色の支配力と補色の関係



紫と黄では、紫の支配力が強いので、黄の強さに合わせて紫を薄く作ること補色が成り立ち、ブラウンになります。

赤と緑では、赤の支配力が強いので、緑の強さに合わせて赤を薄く作ること補色が成り立ち、ブラウンになります。

青と橙では、青の支配力が強いので、橙の強さに合わせて青を薄く作ること補色が成り立ち、ブラウンになります。

## ■ アンダートーンとレベルスケール

### レベル

明度(色の明るさの度合い)を表します。明度が最大の場合白、最も暗くなると黒になります。

### トーン

色の調子の中で、明度と彩度の複合概念と言えるものです。

### アンダートーン

毛髪がブリーチされていく中でのアンダー色の移り変わりです。

		標準毛																			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
アンダーレベル																					
アンダーカラー		ブルー	バイオレット		レッドバイオレット		レッド	オレンジレッド		オレンジ	オレンジイエロー		イエロー	ペールイエロー		ホワイト					
色素構成イメージ量		黄 10 赤 10 青 10	黄 9 赤 8 青 7	黄 8 赤 6 青 3	黄 7 赤 5 青 1	黄 6 赤 4 青 0	黄 5 赤 3 青 0	黄 4 赤 2 青 0	黄 3 赤 1 青 0	黄 2 赤 0 青 0	黄 0 赤 0 青 0										
色味の状態・特長		低明度域					中明度域					高明度域									
		パーজন毛、もしくはパーজন毛に近い状態。メラニン色素があまり流出していないので、暖色系は綺麗に色が出て寒色系は濁った色味になりがちです。					青みだけでなく、赤味の色素も流出いたします。黄味の色素が残るため、ややオレンジ味を感じます。					青みがほぼ無くなり、レベルが高くなるにつれて赤味もなくなります。暖色系の色味は出にくくなり、寒色系の色味は出やすくなります。									

### レベルスケール

明るさの度合い(物差し)を表します。  
ヘアカラーを行う上で、はじめの物差しになります。  
ルーチェントプレミアムでは、20レベル表記を基準にしています。



※イメージ

# LUCHENTO PREMIUM

ルーチェントプレミアムは、ヘアカラーの原点である“色を楽しむこと”を追求しました。

各レベルに合わせた黒髪での高発色を実現させ、  
アンダーカラーに左右されない色出しが可能なラインナップです。



ルーチェントプレミアム  
ブラックマテリアル  
全52色 80g  
【医薬部外品】



フォード ルーチェント  
オキシ 6%  
1,000mL  
【医薬部外品】



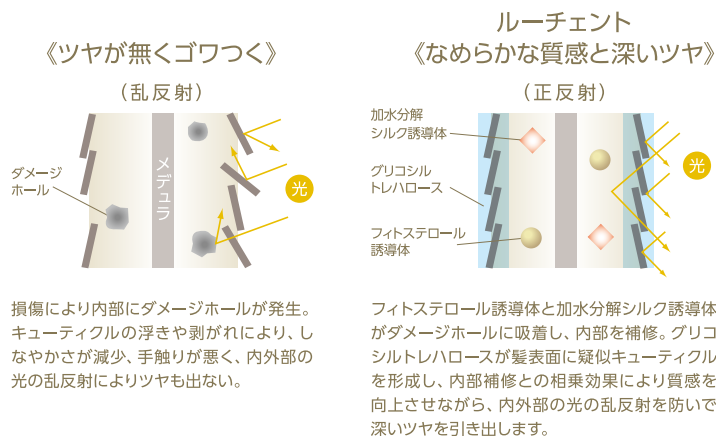
フォード ルーチェント  
オキシ 3%  
1,000mL  
【医薬部外品】

アルカリコントロールタイプ

## 「ルーチェント」シリーズ 共通特長

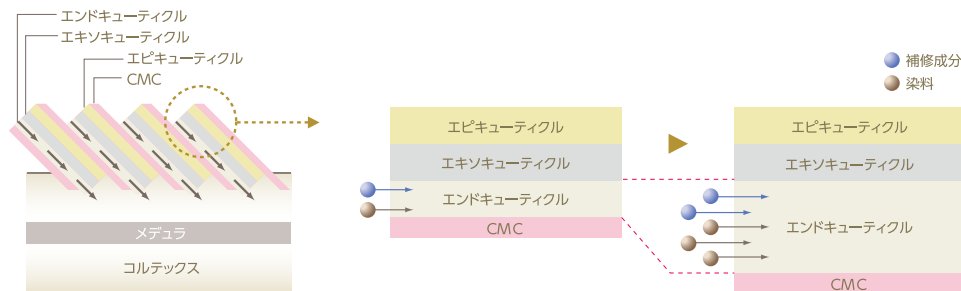
### 毛髪損傷を防ぎ、内部反射による深いツヤを引き出す「インナーシャイニング処方」

カラー後の毛髪表面は、カラー薬剤を内部に浸透させるため、アルカリ等の薬剤によってキューティクルが膨潤し、浮き上がった状態になっています。キューティクルが開いたままでは毛髪内部の色素やタンパクの流失が起きて毛髪の損傷につながるばかりではなく、髪のごわつきや、ツヤがなくなる原因となります。



### 包水性ゲルネットワーククリーム(水膨潤システム)

ゲルネットワーククリームが染料の通り道のエンドキューティクルを膨潤。ダメージ膨潤を少なくし、高い浸透力を生み出します。



### 12種類の植物由来成分とフローラルブーケの香り

髪と頭皮へのダメージに配慮した12種類の植物由来成分と、さわやかなフローラルブーケの香りが快適なヘアカラータイムをサポートします。

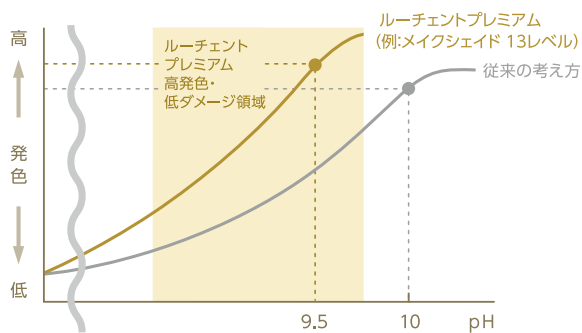


## 「ルーチェントプレミアム」 処方特長

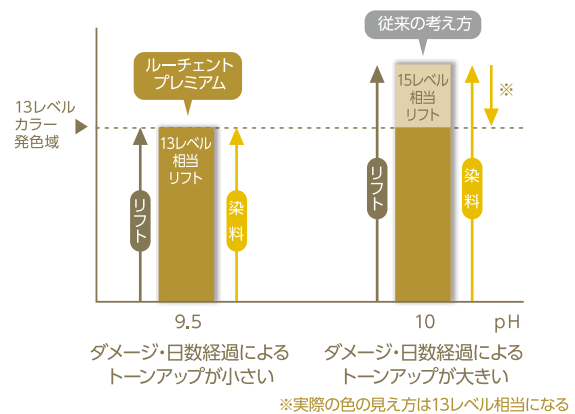
### Make Shade 【メイクシェイド】

ルーチェントプレミアムでは、高浸透の包水性ゲルネットワーククリーム（水膨潤システム）を使用しているため、高レベル（13レベル）でもpH9.5に設定しながら、高発色&脱オーバーリフトを実現しています。

<メイクシェイドのpHと発色イメージ>



<メイクシェイドのリフト力と染料バランスイメージ>



### クリスタルな発色と、狙い通りの彩度表現

まるでクリスタルのような透明感のある色の重なり、高発色な処方で髪にツヤのあるきれいな色を表現していきます。また、日本人の黒髪に対して彩度の高い色を表現するためブラウンをベースに使用せず、補色に透明感のあるグレー色を設定。アンダーの色味に左右されず狙い通りの彩度表現が可能になりました。

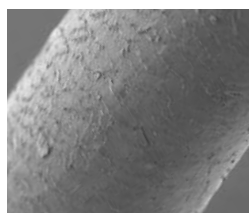
<高彩度のクリアな色味に補色のグレーをブレンド> ※イメージ



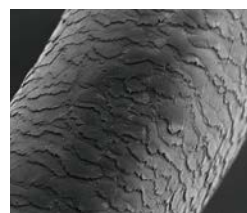
### 高レベルでもローダメージ

従来のヘアカラーよりもpHを抑えることで、オーバーリフトすることなく、高レベルカラーでもダメージを抑えることが可能になりました。また、タンパク+脂質+水分のバランスを整えることで、ダメージを最小限に抑えています。

<キューティクルの剥離ダメージ写真>



当社従来品



ルーチェントプレミアム

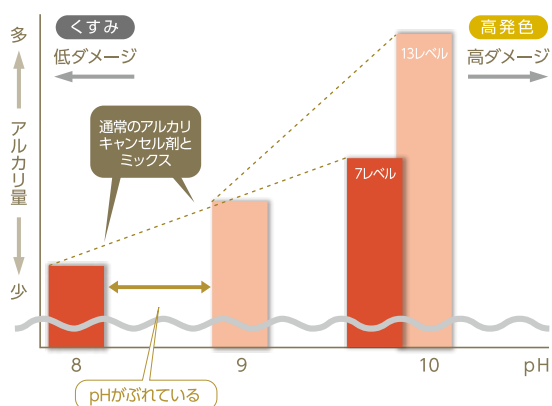


## Control Shade 【コントロールシェイド】 アルカリコントロールタイプ (弱酸性)

### ダメージを感じさせず、毛先まで美しい発色

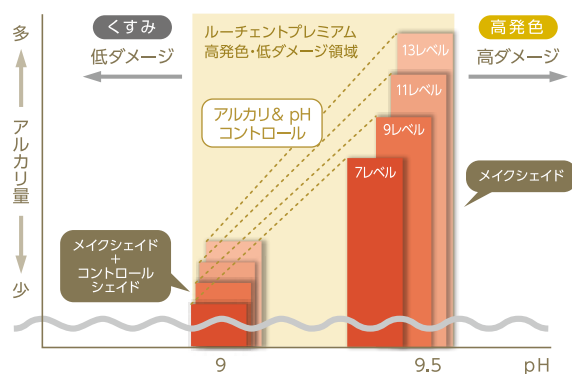
タウリン配合のコントロールシェイドとメイクシェイドを併せて使用することで、アルカリとpHをコントロール。バッファー作用のあるコントロールシェイドは、すべてのレベルをpH9前後に調整します。カラー剤の高発色領域を保ちながら、ダメージの少ないpH領域に調整することにより、ダメージを感じさせず、毛先まで美しい発色が可能になりました。

＜従来のトーンダウン時のアルカリとpHの動き＞



くすみが出て、発色がぶれてしまう

＜コントロールシェイド使用時のアルカリとpHダウンイメージ＞



くすみが出にくく、毛先まで美しい発色

プレミアムは1剤同士でバッファー作用が出せる処方になっており同じカラーベースのため、その作用が最大限に発揮される。

### 滑らかな塗り心地でダメージを軽減

傷んだ毛先のために設計された滑らかなクリームを採用。薬剤によるコーミングダメージを軽減することで、毛先までなめらかな操作性が可能になりました。

## カラーラインナップ

### Make Shade

#### ヘアベースに合わせて高発色を実現

**ベースライン** 色変化が少なく、ベースに左右されにくいナチュラルな色表現。



**Na** ナチュラル  
変色が少なく、染める人のメラニン  
の状態に合わせた自然なブラウン。



**Mo** モノトーン  
赤味、黄味などベースの色に左右されない  
グレーシルバーベースのモノトーン。

**シャイニーライン** ビビッドで透明感のある色表現。個性や印象を変える色味重視のカラー提案。



**S/Ye** シャイニーイエロー  
オレンジ味が出にくく、鮮やかで透明感  
のあるシャンパンゴールド系イエロー。



**S/Or** シャイニーオレンジ  
赤味にも黄味にも振られにくい、  
濁りのない純正オレンジ色。



**S/Re** シャイニーレッド  
単品でもしっかりと赤色を表現できる。  
赤が好きの人のための赤。

**アッシュライン** 柔らかく軽やかな雰囲気の色表現。自然な上品さやクールな格好良さ重視のカラー提案。



**Pi/A** ピンクアッシュ  
柔らかさと可愛い雰囲気のを合わせ持つ  
ややスモーキーなピンク色。



**La/A** ラベンダーアッシュ  
上品な質感で少しパール感を感じさせる  
深みのあるラベンダー色。



**Pl/A** プラチナアッシュ  
プラチナのような上品さと透明感をかね備えた  
アッシュカラー。柔らかな質感表現に最適。  
褪色時に赤味が出にくいのも特徴。



**Em/A** エメラルドアッシュ  
洗練されたクールな印象を与えるマット系アッシュ。  
赤味が出やすい人のベースコントロールとしても最適。

**アクセント** 原色系のラインナップ。デザインカラーや、より彩度を強調させたい部分に使用。3~4レベルに設定。



**Or**  
オレンジティント



**Re**  
レッドティント



**Pu**  
パープルティント



**Bl**  
ブルーティント



**Gr**  
グリーンティント

**ブリーチ** 黒髪を明るくする脱色剤。15レベルに設定。(ノンジアミンタイプ)



**LT**  
ライトナー

### Control Shade

#### 根元と毛先のかんたんコントロール

メイクラインと合わせて使用することで微アルカリラインをつくることができ、既染部へのダメージ対応が可能になります。  
ナチュラル系・ウォーム系の2~6レベルダウン構成で各色に対応しています。

#### トーンダウンコントロール



**ND** ナチュラルダウン  
Na・Mo・S/Ye・Pl/A・Em/Aの  
色素補正用として対応。



**WD** ウォームダウン  
S/Or・S/Re・Pi/A・La/Aの  
色素補正用として対応。



**CL** クリア  
染料調整用。ノンアルカリタイプにする  
ことにより、各色のくすみを解消。

#### クリアコントロール

# カラーチャート

## Make Shade

LEVEL	Base Line ベースライン		Shiny Line シャイニーライン			Ash Line アッシュライン			
	Na ナチュラル	Mo モトーン	S/Ye シャイニーイエロー	S/Or シャイニーオレンジ	S/Re シャイニーレッド	Pi/A ピンクアッシュ	La/A ラベンダーアッシュ	Pl/A プラチナアッシュ	Em/A エメラルドアッシュ
13									
	Na13	Mo13	S/Ye13	S/Or13	S/Re13	Pi/A13	La/A13	Pl/A13	Em/A13
12	1 : 1	1 : 1	1 : 1	1 : 1	1 : 1	1 : 1	1 : 1	1 : 1	1 : 1
11									
	Na11	Mo11	S/Ye11	S/Or11	S/Re11	Pi/A11	La/A11	Pl/A11	Em/A11
10	1 : 1	1 : 1	1 : 1	1 : 1	1 : 1	1 : 1	1 : 1	1 : 1	1 : 1
9									
	Na9	Mo9	S/Ye9	S/Or9	S/Re9	Pi/A9	La/A9	Pl/A9	Em/A9
8	1 : 1	1 : 1	1 : 1	1 : 1	1 : 1	1 : 1	1 : 1	1 : 1	1 : 1
7									
	Na7	Mo7	S/Ye7	S/Or7	S/Re7	Pi/A7	La/A7	Pl/A7	Em/A7
6	1 : 1	1 : 1							
5									
	Na5	Mo5							
4	1 : 1								
3									
	Na3								

Accent アクセント ※白毛に染めたイメージ					Bleach ブリーチ ※15レベル ※黒毛に染めたイメージ	
Or オレンジティント	Re レッドティント	Pu パープルティント	Bl ブルーティント	Gr グリーンティント	LT ライトナー	

BASE	
黒髪	白毛
(5LEVEL)	

混合比率 → 12~13レベル・LT… 1剤+2剤(1:2)、3~11レベル… 1剤+2剤(1:1) OX6%

## Control Shade

DOWN LEVEL	2	4	6	DOWN LEVEL	2	4	6	CL
ND ナチュラル ダウン				WD ウォーム ダウン				
	ND2	ND4	ND6		WD2	WD4	WD6	CL クリア

混合比率 → メイクシェイド+コントロールシェイド(1:1) OX3%/等倍

※白毛に染めたイメージ ※メイクシェイドと併用 ※コントロールシェイドの設定数字はトーンダウンのレベルです。  
 ※白髪染めとしては使用できません。  
 ※カラーチャートは印刷物のため、実際の色と多少異なります。

Make Shade

## カラーイメージをコントロール

### 「Na(ナチュラル)」・「Mo(モントーン)」使用例

<p>シャイニーライン</p> 	+		=	落ち着いた色味へ
<p>アッシュライン</p> 	+		=	柔らかい色味へ
<p>シャイニーライン</p> 	+		=	透明感のある色味へ
<p>アッシュライン</p> 	+		=	クリアで優しい色味へ

### 「アクセント」使用例

シャイニーライン、アッシュラインと併用することで、ベースカラーの彩度強調が簡単に行えます。 アクセント+メイクシェイド= (1:10)

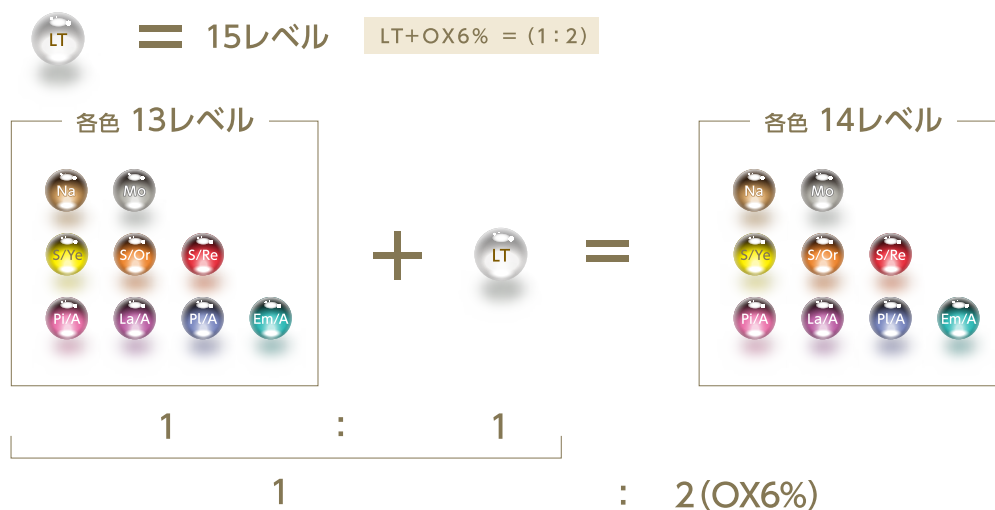
(※アクセント10%使用で彩度強調が可能ですが、仕上がりの明度は変わりません。)

	+	 = イエローオレンジ  = オレンジ強調  = レッドオレンジ	+	 = オレンジレッド  = レッド強調  = ピンクレッド	+	 = 深みのあるレッド  = 深みのあるピンク  = ラベンダー強調
	+	 = ラベンダーブルー  = ブルー強調  = エメラルドブルー	+	 = プラチナグリーン  = エメラルド強調  = イエローグリーン		

## レベルをコントロール

### 「LT(ライトナー)」使用例

単品使用で15レベルまでリフト。メイクシェイド各13レベルと(1:1)の使用で、14レベル薬剤として使用できます。



## 色遊びでイメージ演出

### カラーイメージ例

メイクシェイドの単品使用ではなく、ミックスすることで、より多くのイメージ(カラーバリエーション)を作り出すことができます。

※混合比・色の組み合わせは、髪の状態や髪質により異なります。

		混合比 (1:1)			
キュート	▶		+		=  サンシャインオレンジ 鮮やかで明るい雰囲気
ソフト	▶		+		=  スモーキーマットベージュ ナチュラルで柔らかな雰囲気
エレガント	▶		+		=  クリアラベンダー 上品で透明感のある雰囲気
カジュアル	▶		+		=  ローズオレンジ 活発的で温かみのある雰囲気
フェミニン	▶		+		=  ピンクゴールド 透明感のあるカッコ可愛い雰囲気
スマート	▶		+		=  シルバーグレイ 落ち着きがあるクール系の雰囲気

Control Shade

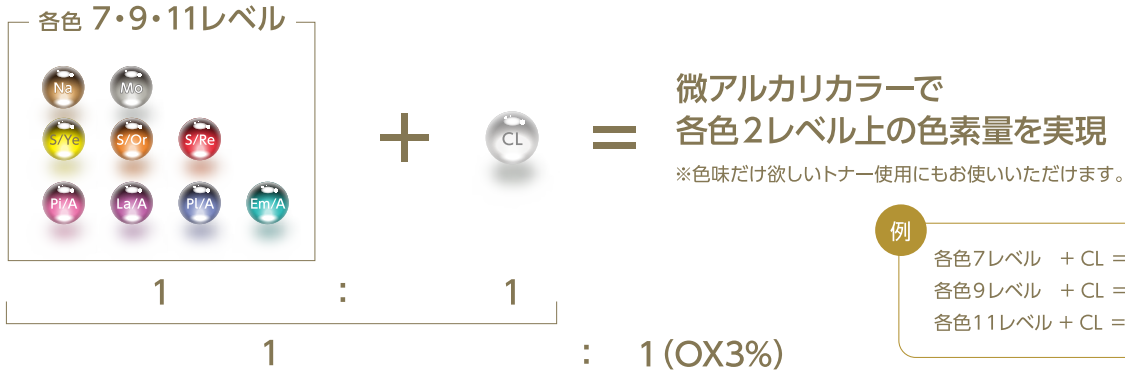
既染部をコントロール

メイクシェイドと合わせて使用し、色素コントロールとメイクシェイドのpH・アルカリを調整。  
 バッファー作用を併せ持つ、既染部対応の微アルカリライン。ND・WDで各色の2～6レベルダウンに対応。  
 CLはメイクシェイドのアルカリ+pHを調整し、ローダメージで色味を補正。  
 各レベルに対し(1:1)の使用で、2レベル上の色素量に。



※白毛に染めたイメージ ※メイクシェイドと併用 ※コントロールシェイドの設定数字はトーンダウンのレベルです。

「CL(クリア)」使用例



トーンダウン イメージチャート Na使用例

希望レベル	13	11	9	7	5
アンダーレベル					
15	Na13+ND2=(1:2)	Na11+ND4=(1:1)	Na9+ND6=(1:1)		
14	Na13+ND1=(1:2)	Na11+ND3=(1:1)	Na9+ND5=(1:1)		
13	Na11+CL=(1:1) 色味補正	Na11+ND2=(1:1)	Na9+ND4=(1:1)	Na7+ND6=(1:1)	
12		Na11+ND1=(1:1)	Na9+ND3=(1:1)	Na7+ND5=(1:1)	
11		Na9+CL=(1:1) 色味補正	Na9+ND2=(1:1)	Na7+ND4=(1:1)	Na5+ND6=(1:1)
10			Na9+ND1=(1:1)	Na7+ND3=(1:1)	Na5+ND5=(1:1)
9			Na7+CL=(1:1) 色味補正	Na7+ND2=(1:1)	Na5+ND4=(1:1)
8	<放置タイム目安> 15分 <2剤使用> 3%・等倍			Na7+ND1=(1:1)	Na5+ND3=(1:1)
7	○ND使用時 ... ND1=CL+ND2(1:1) ND3=ND2+ND4(1:1) ND5=ND4+ND6(1:1) ○WD使用時 ... WD1=CL+WD2(1:1) WD3=WD2+WD4(1:1) WD5=WD4+WD6(1:1)			Na5+CL=(1:1) 色味補正	Na5+ND2=(1:1)
6					Na5+ND1=(1:1)

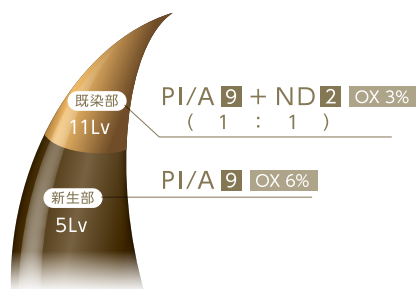
※白毛に染めたイメージ ※カラーチャートは印刷物のため、実際の色と多少異なります。

## 「ND(ナチュラルダウン)・WD(ウォームダウン)」使用例

### 例1

<仕上がりイメージ> **PI/A9** (プラチナアッシュ 9レベル)

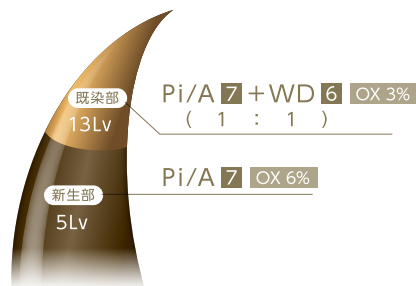
根元は「PI/A9」使用でリフト、既染部は11レベルに褪色の場合。既染部は「ND2」+「PI/A9」で2レベルダウンのプラチナアッシュ系の色味として使用可能です。



### 例2

<仕上がりイメージ> **Pi/A7** (ピンクアッシュ 7レベル)

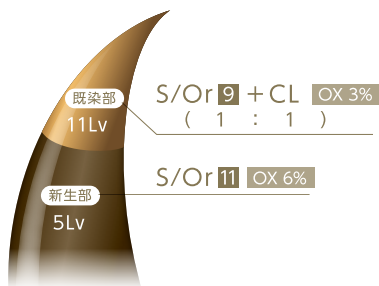
根元「Pi/A7」使用でリフト、既染部は13レベルに褪色の場合。既染部は「WD6」+「Pi/A7」で6レベルダウンのピンクアッシュ系の色味として使用可能です。



### 例3

<仕上がりイメージ> **S/Or11** (シャイニーオレンジ 11レベル)

根元「S/Or11」使用でリフト、既染部は11レベルに褪色の場合。既染部は11レベルの色味が必要となります。ローダメージで色味のみ補いたい場合は、2レベル下の「S/Or9」+「CL」で11レベルの染料設定が可能となります。他の例として、根元9レベルリフト、既染部9レベル褪色の場合は7レベルカラー剤と「CL」使用で、9レベルの色味設定が可能です。



## ケーススタディ 新生部

### はじめに

- オーバーラップのmm(ミリ)数や放置時間の設定は、髪の状態により調整してください。
- 前処理が必要な場合は、ダメージ度合いにより行ってください。
- 染まりやすい新生部には、OXの調整をおすすめします。  
リフトスピードを遅らせ、明るくなりすぎるのを防ぎます。

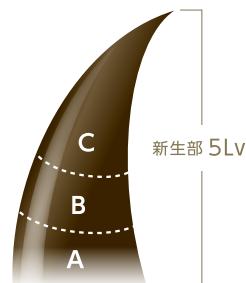
<例> 4.5%[6%+3%(1:1)]

※ルーチェントプレミアムは高浸透・高発色カラーのため、リフトアップスピードもスムーズです。

※軟毛、吸水毛、こめかみ、髪のメラニン色素の違い、体温等に注意しながら、薬剤選定・放置時間を設定してください。

### バージン毛

- ① Cに希望色を塗布。
- ② 約10分放置。
- ③ Bに希望色を塗布。
- ④ 約5分放置。
- ⑤ Aに希望色を塗布。
- ⑥ 約10～15分放置。
- ⑦ カラーテスト後、乳化してシャンプー。



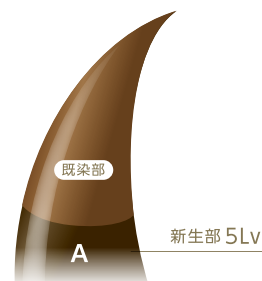
### リタッチ/ワンタッチ

- ① 既染部とのつながり部分の明度をチェックし、希望色を選定。

おすすめ

- ・赤味を持ったブラウンの場合 … [Na]
- ・赤味を持たないブラウンの場合 … [Mo]

- ② Aに薬剤を塗布。
- ③ 約10～15分放置。
- ④ カラーテスト後、乳化してシャンプー。



### リタッチ/ツータッチ

- ① 既染部とのつながり部分の明度をチェックし、希望色を選定。

おすすめ

- ・赤味を持ったブラウンの場合 … [Na]
- ・赤味を持たないブラウンの場合 … [Mo]

- ② Bに薬剤を塗布。
- ③ 約5～10分放置。
- ④ Aに薬剤を塗布。
- ⑤ 約10～15分放置。
- ⑥ カラーテスト後、乳化してシャンプー。

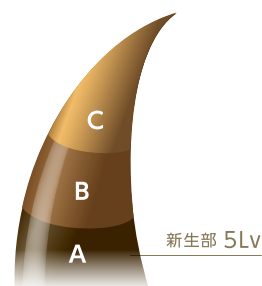




## ■ ケーススタディ 既染部①

### トーンダウン

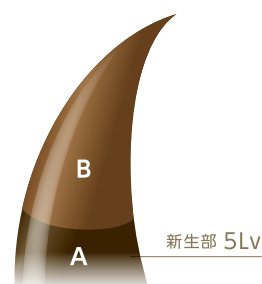
- ① 希望色を**A**に塗布。  
(既染部へ5mmオーバーラップがおすすめ)
- ② **B**にトーンダウン剤を塗布。  
(ムラ防止に**A**に5mmかぶせた塗布がおすすめ)
- ④ 約5～10分放置。
- ⑤ **C**にトーンダウン剤を塗布。
- ⑥ 約5～10分放置。
- ⑦ カラーテスト後、乳化してシャンプー。



### 既染部の明度キープしたまま色味を変えたい場合

- ① 既染部**B**と同じ明るさの希望色を**A**へ塗布し、  
**B**へ5mmオーバーラップ。
- ② **B**に希望色\*の色味調合を塗布。  
(**A**へ5mmかぶせた塗布がおすすめ)
- ③ 10～15分放置。
- ④ カラーテスト後、乳化してシャンプー。

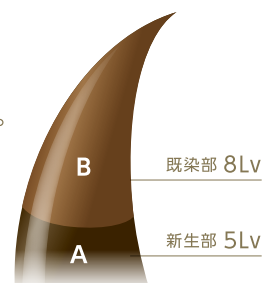
※新生部11レベル選定の場合、希望色はCL+9レベル= (1:1) となります。



### 既染部を明るくしたい場合 (希望明度11レベル)

- ① **B**に11レベルの希望色\*を塗布。
- ② **A**に10～9レベル (希望レベルより1～2レベル低め) の薬剤で塗布。  
髪の状態に合わせた薬剤選定を行う。
- ③ 約10～15分放置。
- ④ カラーテスト後、乳化してシャンプー。

※髪の状態により、OX調整 (OX2倍等) が必要です。

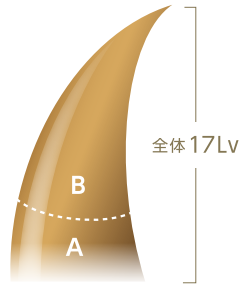


## ケーススタディ 既染部②

### ダブルカラー

(例) ミルクティー & シルバークレイ

- ① 17レベルまでリフトアップ。
- ② pH調整とアルカリ除去をしっかりと行う。
- ③ **A**へ希望のカラー剤を塗布。
- ④ 5分放置。
- ⑤ **B**へ希望のカラー剤を塗布。
- ⑥ 5～10分放置。
- ⑦ カラーチェックし、希望色であれば乳化してシャンプー&後処理。



例

#### ミルクティー

Na<sup>9</sup>+La/A<sup>11</sup>+CL OX 3%  
( 10 : 1 : 20 )

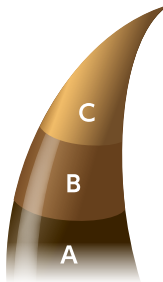
#### シルバークレイ

Pl/A<sup>9</sup>+Mo<sup>11</sup>+CL OX 3%  
( 1 : 1 : 2 )

※色味の調合は毛髪の状態、リフト度合いで変わります。

### 脱染テクニック (プレブリーチ)

- ① シャンプー台等で髪をウェットにする。
- ② 軽くトリートメント (前処理) を塗布し、そのまま施術を行う。
- ③ **C**へ薬剤を塗布。
- ④ 3分放置。
- ⑤ **B**へ薬剤を塗布。
- ⑥ 3分放置。
- ⑦ **A**が新生部であればそのまま放置。
- ⑧ 放置タイムは脱染の度合いにより調整する。
- ⑨ テストして希望色であればシャンプー。



例

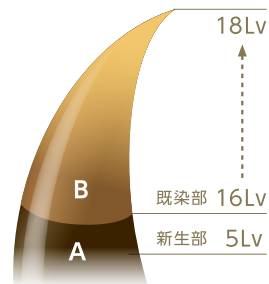
パウダーブリーチ OX 3% 3倍

LT + パウダーブリーチ  
( 1 : 1 ) OX 3% 3倍

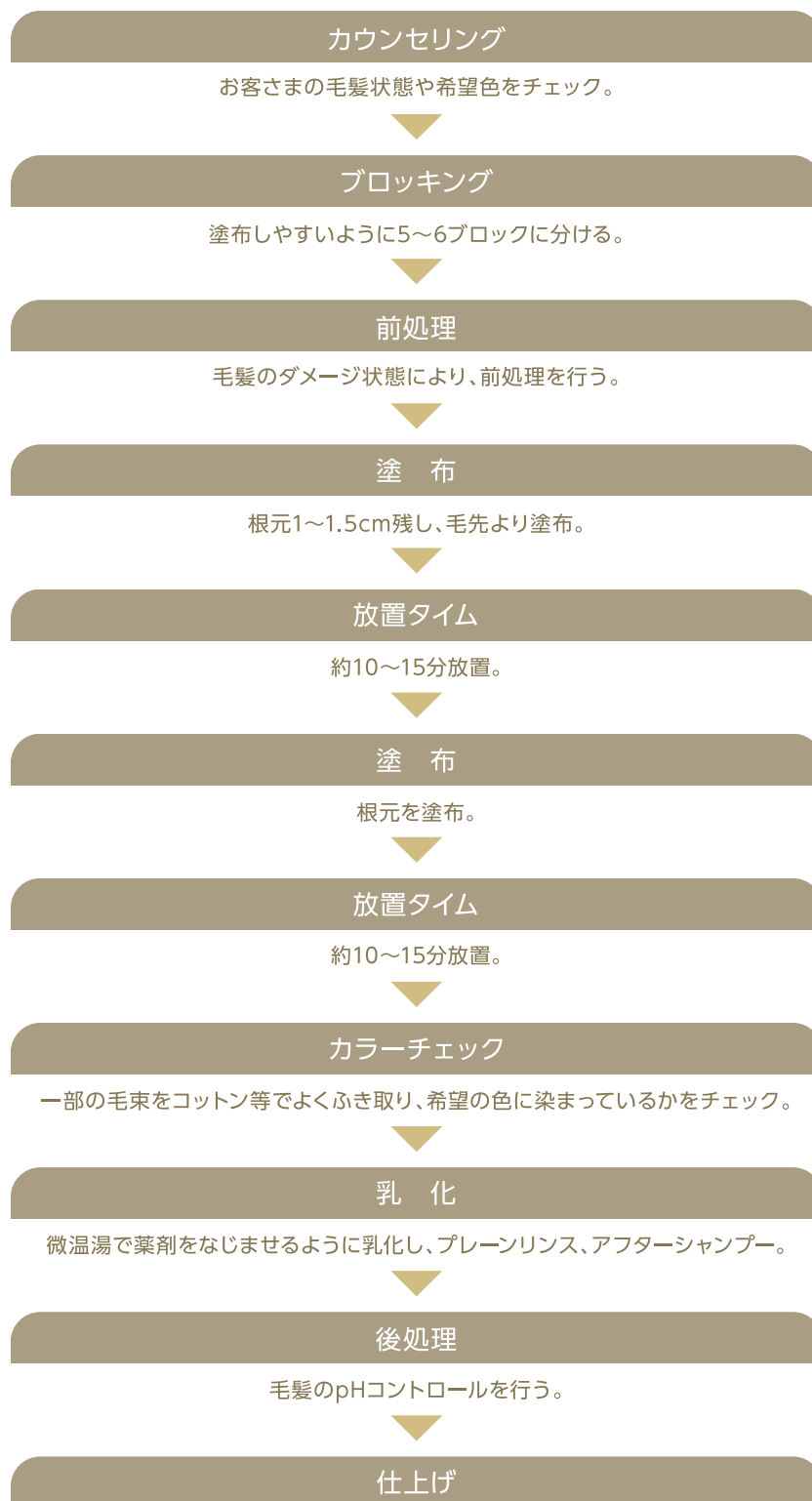
- ※乳化は行いません。
- ※残留染料の量や既染部分により工程は異なります。
- ※脱染の時ムラを防ぐため手早く塗布を行ってください。
- ※新生部には付着しないようにしましょう。

### 極端なトーンダウン

- ① 通常トーンダウンを行う前に、シャンプー台等で色素補整を行う。  
※極端なトーンダウン時の色ムラやトーンダウンミスを防ぐため。
- ② 足りない茶色味を補うため、既染部**B**に補整薬剤を塗布。  
<例> 3～4レベル色味補正 (トーンダウン) の場合  
Na<sup>7</sup>+ND<sup>2</sup> = (1:1) OX3%  
※色味の調合は毛髪の状態等により異なります。
- ③ 5～10分放置後、軽くシャンプー。
- ④ 既染部のレベルを確認。
- ⑤ 希望色の新生部薬剤と既染部のレベルに合わせた薬剤を調合。
- ⑥ その後、通常のトーンダウン工程を行う。  
※ダメージに合わせて前処理はしっかり行います。



## ベーシックプロセス





## 三口産業株式会社

〈本社〉大阪市天王寺区玉造本町6-5 TEL.06-6761-5636(代)  
〈札幌〉TEL.011-815-5775 〈仙台〉TEL.022-301-7966  
〈東京〉TEL.03-6417-9585 〈福岡〉TEL.092-409-8351



写真・イラストはすべてイメージです。  
本紙掲載の写真、記事等の無断転載・複写を禁じます。

